社団法人　愛知県環境測定分析協会事務局内
共同実験事務局　　御中
TEL/FAX　052-321-3803

平成22年度第1回共同実験結果報告書（全窒素）

事業所名			
分析担当者氏名		経験年数	
環境計量士氏名		連絡用TEL	
連絡用FAX		連絡用メールアドレス	
分析開始日		分析終了日	
分析開始までの試料の保存方法[注1)]	1. 直ちに分析		
	2. 冷蔵庫に保存（　　℃）		
	3. 室温で保存		
	4. その他（　　）		

※経験年数は今回使用した分析方法の今までの経験年数を記入してください。

注1）用いた保存方法の項目に〇を記入してください。
　　2の場合は、カッコ内に温度を記入してください。4の場合は、カッコ内に保存方法を記入してください。

分析結果

試料名	1	2	3	4	5	平均値	標準偏差	変動係数
試料 1								
試料 2								

※単位はmg/Lで記入し、有効数字3桁で記入してください。
※2回以上の測定を行った場合は、平均値を報告値として取り扱います。

分析方法[注2)]

総和法	
紫外吸光光度法	
硫酸ヒドラジニウム還元法	
銅・カドミウムカラム還元法	
熱分解法	
その他（　　）	

※用いた分析方法の項目に〇を記入してください。
注2）その他の場合は、カッコ内に分析方法を記入してください。

総和法

※総和法を用いた場合にのみ記入してください。

前処理および測定法の詳細　　※2回以上の測定を行った場合は、1回目の測定条件を記入してください。

硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の分析

試料の前処理	試料量(mL)		
	留出液量(mL)		
測定	留出液の分取量(mL)		
	測定波長(nm)		
	セル(光路長)(mm)		
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の分析結果(mg/L)		
標準液	標準液の調製法	1. 自己調製液　　2. 市販標準原液	
	標準液の製造元		
	標準液の作成日		
使用機器	分光光度計の型式	メーカー名	
		型式	
		購入年月日	

試料測定データ

試料名	1	2	3	4	5	平均値	標準偏差	変動係数
試料 1 の吸光度								
試料 2 の吸光度								
空試験の吸光度								

検量線データ

検量線	y =		× x ＋		直線性	r^2 =	

	ブランク	標準液1	標準液2	標準液3	標準液4	標準液5	標準液6	標準液7
濃度 (mg/L)								
吸光度								

アンモニア性窒素及び有機性窒素の分析

試料の前処理	試料量(mL)		
	留出液量(mL)		
測定	留出液の分取量(mL)		
	測定波長(nm)		
	セル(光路長)(mm)		
	アンモニア性窒素及び有機性窒素の分析結果(mg/L)		
標準液	標準液の調製法	1. 自己調製液　　2. 市販標準原液	
	標準液の製造元		
	標準液の作成日		
使用機器	分光光度計の型式	メーカー名	
		型式	
		購入年月日	

試料測定データ

試料名	1	2	3	4	5	平均値	標準偏差	変動係数
試料 1 の吸光度								
試料 2 の吸光度								
空試験の吸光度								

検量線データ

検量線	y =		× x ＋		直線性	r^2 =	

	ブランク	標準液1	標準液2	標準液3	標準液4	標準液5	標準液6	標準液7
濃度 (mg/L)								
吸光度								

紫外吸光光度法

※紫外吸光光度法を用いた場合にのみ記入してください。

前処理および測定法の詳細　　※2回以上の測定を行った場合は、1回目の測定条件を記入してください。

試料の前処理	試料量（mL）		
	分解瓶の種類	1. 四ふっ化エチレン樹脂製の瓶 2. 耐熱・耐圧ガラス製の瓶 3. その他（　　）	
	試薬 （水酸化ナトリウム）	1. 窒素測定用 2. 特級 3. その他（　　）	
	試薬 （ペルオキソ二硫酸カリウム）	1. 窒素りん測定用 2. 特級 3. その他（　　）	
	分解条件 （高圧蒸気滅菌器）	温度（℃）	
		分解時間（分）	
測定	分解試料の分取量（mL）		
	測定波長（nm）		
	セル（光路長）（mm）		
標準液	標準液の調製法	1. 自己調製液　　2. 市販標準原液	
	標準液の製造元		
	標準液の作成日		
使用機器	分光光度計の型式	メーカー名	
		型式	
		購入年月日	

注）その他を選択した場合は、具体的な内容をカッコ内に記入してください。

試料測定データ

試料名	1	2	3	4	5	平均値	標準偏差	変動係数
試料 1 の吸光度								
試料 2 の吸光度								
空試験 の吸光度								

検量線データ

検量線	y =		× x ＋		直線性	r^2 =	

	ブランク	標準液1	標準液2	標準液3	標準液4	標準液5	標準液6	標準液7
濃度 （mg/L）								
吸光度								

硫酸ヒドラジニウム還元法

※硫酸ヒドラジニウム還元法を用いた場合にのみ記入してください。

前処理および測定法の詳細　　※2回以上の測定を行った場合は、1回目の測定条件を記入してください。

試料の前処理	試料量(mL)		
	分解瓶の種類	1. 四ふっ化エチレン樹脂製の瓶 2. 耐熱・耐圧ガラス製の瓶 3. その他(　　)	
	試薬 (水酸化ナトリウム)	1. 窒素測定用 2. 特級 3. その他(　　)	
	試薬 (ペルオキソ二硫酸カリウム)	1. 窒素りん測定用 2. 特級 3. その他(　　)	
	分解条件 (高圧蒸気滅菌器)	温度(℃)	
		分解時間(分)	
測定	分解試料の分取量(mL)		
	測定波長(nm)		
	セル(光路長)(mm)		
標準液	標準液の調製法	1. 自己調製液　　2. 市販標準原液	
	標準液の製造元		
	標準液の作成日		
使用機器	分光光度計の型式	メーカー名	
		型式	
		購入年月日	

注)その他を選択した場合は、具体的な内容をカッコ内に記入してください。

試料測定データ

試料名	1	2	3	4	5	平均値	標準偏差	変動係数
試料 1 の吸光度								
試料 2 の吸光度								
空試験 の吸光度								

検量線データ

検量線	y =		× x ＋		直線性	r^2 =	

	ブランク	標準液1	標準液2	標準液3	標準液4	標準液5	標準液6	標準液7
濃度 (mg/L)								
吸光度								

銅・カドミウムカラム還元法

※銅・カドミウムカラム還元法を用いた場合にのみ記入してください。

前処理および測定法の詳細　　※2回以上の測定を行った場合は、1回目の測定条件を記入してください。

試料の前処理	試料量（mL）		
	分解瓶の種類	1. 四ふっ化エチレン樹脂製の瓶 2. 耐熱・耐圧ガラス製の瓶 3. その他（　　）	
	試薬 （水酸化ナトリウム）	1. 窒素測定用 2. 特級 3. その他（　　）	
	試薬 （ペルオキソ二硫酸カリウム）	1. 窒素りん測定用 2. 特級 3. その他（　　）	
	分解条件 （高圧蒸気滅菌器）	温度（℃）	
		分解時間（分）	
測定	カラム流出液試料の分取量 （mL）		
	測定波長（nm）		
	セル（光路長）（mm）		
標準液	標準液の調製法	1. 自己調製液　　2. 市販標準原液	
	標準液の製造元		
	標準液の作成日		
使用機器	分光光度計の型式	メーカー名	
		型式	
		購入年月日	

注）その他を選択した場合は、具体的な内容をカッコ内に記入してください。

試料測定データ

試料名	1	2	3	4	5	平均値	標準偏差	変動係数
試料 1 の吸光度								
試料 2 の吸光度								
空試験 の吸光度								

検量線データ

検量線	y =		× x ＋		直線性	r^2 =	

	ブランク	標準液1	標準液2	標準液3	標準液4	標準液5	標準液6	標準液7
濃度 （mg/L）								
吸光度								

熱分解法	※熱分解法を用いた場合にのみ記入してください。

前処理および測定法の詳細　　※2回以上の測定を行った場合は、1回目の測定条件を記入してください。

試料の前処理	試料注入量（μL）		
測定	全窒素分析装置	1. 電量滴定法 2. 電気伝導度測定法 3. 熱伝導度測定法 4. 化学発光法	
標準液	標準液の調製法	1. 自己調製液　　2. 市販標準原液	
	標準液の製造元		
	標準液の作成日		
使用機器	全窒素分析装置	メーカー名	
		型式	
		購入年月日	

試料測定データ

試料名	1	2	3	4	5	平均値	標準偏差	変動係数
試料 1 の指示値								
試料 2 の指示値								
空試験の指示値								

検量線データ

検量線	y =		× x ＋		直線性	r^2 =	

	ブランク	標準液1	標準液2	標準液3	標準液4	標準液5	標準液6	標準液7
濃度（mg/L）								
指示値								

その他の分析方法

※その他の分析方法を用いた場合にのみ記入してください。

具体的な分析手順（フローシート）を記入し、検量線、チャート等を添付してください。

意見・感想

・分析実施にあたって留意した点及び問題と感じた点。 ・この共同実験に関する御意見（今後の参考にいたします）。